

6. テレビ視聴時間と社会的要因の関連：NIPPON DATA2010

研究協力者 炭本 佑佳 (同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科 大学院生)
研究協力者 柳田 昌彦 (同志社大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 教授)
研究分担者 奥田 奈賀子 (人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科 教授)
研究分担者 西 信雄 (医薬基盤・健康・栄養研究所国際栄養情報センター センター長)
研究協力者 中村 好一 (自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 教授)
研究協力者 宮松 直美 (滋賀医科大学看護学科臨床看護学講座 教授)
研究協力者 中村 幸志 (北海道大学大学院医学研究院社会医学分野公衆衛生学教室 准教授)
研究協力者 宮川 尚子 (医薬基盤・健康・栄養研究所国際災害栄養研究室 研究員)
研究協力者 宮地 元彦 (医薬基盤・健康・栄養研究所身体活動研究部 部長)
研究分担者 門田 文 (滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任准教授)
研究分担者 大久保 孝義 (帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授)
研究分担者 岡村 智教 (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 教授)
顧問 上島 弘嗣 (滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任教授)
研究分担者 岡山 明 (生活習慣病予防研究センター 代表)
研究代表者 三浦 克之 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授)

NIPPON DATA2010 研究グループ

【目的】

長時間のテレビ視聴は、糖尿病や肥満の発症リスクを高めるだけでなく、4 時間より長くなるにつれ総死亡リスク、心疾患死亡リスクが高くなることが明らかとなっている。テレビ視聴時間には社会経済格差が影響していると報告されているが、本邦における社会的要因との関連は十分に検討されていない。本邦を代表する一般集団における社会的要因とテレビ視聴時間の関連を検討する。

【対象と方法】

1) 対象

平成 22 年国民健康・栄養調査参加者で、NIPPON DATA2010 の参加に同意し、同年の国民生活基礎調査と突合した 2,807 人のうち、データ欠損を除いた 20 歳以上 85 歳未満の 2,292 人(男性 1,009 人、女性 1,283 人)を対象とした。

2) 主要変数について

国民健康・栄養調査、NIPPON DATA2010、国民生活基礎調査の自記式質問調査票より以下のデータを得た。

①テレビ視聴時間

自記式質問調査票および調査員のインタビューにより 24 時間の行動について評価した。男女

ともに、4時間以上を「長時間テレビ視聴」と定義をした。

②社会的要因は以下の4つとした。

- ・就業状況：有職、無職
- ・学歴：中学校卒業、高校卒業、短大卒業以上
- ・婚姻状況：既婚、独身(単身)、独身(同居者あり)
- ・年間世帯収入(円)：200万未満、200～600万、600万以上

3) 解析方法

男女別に65歳未満・65歳以上に層化し、長時間テレビ視聴を従属変数、就業状況、学歴、婚姻状況、年間世帯収入を独立変数とし、長時間テレビ視聴のオッズ比(OR)、95%信頼区間(95%CI)を年齢、飲酒状況、喫煙状況、√世帯人数を調整した多重ロジスティック回帰分析を用い算出した。

【結果】

男女ともに就業状況において、無職の長時間テレビ視聴に対するOR(CI)が、有職に比べ有意に高かった〔男性65歳未満5.91(3.25-10.74), 65歳以上3.66(2.36-5.66), 女性65歳未満4.71(3.08-7.19), 65歳以上2.90(1.62-5.20)〕。女性のみ学歴において、短大卒業以上の長時間テレビ視聴に対するORが、中学校卒業に比べ有意に低かった〔65歳未満0.46(0.24-0.91), 65歳以上0.32(0.15-0.70)〕。加えて、婚姻状況において65歳未満の独身(同居者有り)の長時間テレビ視聴に対するORは、既婚と比べ有意に高かった〔1.96(1.08-3.53)〕。

【考察】

テレビ視聴時間と就業状況の関連については多くの研究において、無職が有職に比べテレビ視聴時間が有意に長いことを報告している。本研究においても無職は、長時間テレビ視聴と有意な関連を示した。無職が長時間テレビ視聴となる背景には、有職の者に比べ自由な時間が長いことが影響していると考えられる。また、先行研究において学歴や収入とテレビ視聴時間との関連について、低学歴や低収入のテレビ視聴時間が長い理由として、テレビが安価で手軽な余暇となりやすいためだと報告している。本研究では、女性の短大卒業以上の者の長時間テレビ視聴に対するORが有意に低かった。このことより、高学歴は低学歴に比べ、余暇に対するコストの障壁が低いため、テレビ以外の余暇の選択肢や機会を多く有していることが考えられる。

【結論】

日本を代表する一般集団において長時間テレビ視聴に関わる社会的要因は、男女ともに共通し、就業状況が関連をしていた。さらに女性の場合には、学歴、婚姻状況といった要因も関連していることが示唆された。

第29回 日本疫学会学術総会 (東京) 2019年2月1日 発表抄録

表1. 男性における長時間テレビ視聴と社会的要因の関連

	n	% ^a	model 1		model 2		model 3	
			OR	95%CI	OR	95%CI	OR	95%CI
20歳以上65歳未満								
就業状況								
有職	500	19.6	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)
無職	66	60.6	5.81	(3.34 - 10.13)	5.88	(3.36 - 10.29)	5.91	(3.25 - 10.74)
学歴								
中学校卒業	71	31.0	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)
高校卒業	257	30.4	1.11	(0.62 - 1.99)	1.21	(0.67 - 2.20)	1.43	(0.74 - 2.75)
短大卒業以上	238	16.0	0.52	(0.27 - 0.98)	0.57	(0.29 - 1.09)	0.67	(0.33 - 1.38)
婚姻状況								
既婚	442	23.1	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)
独身(単身)	52	36.5	2.04	(1.10 - 3.78)	1.92	(1.03 - 3.58)	1.85	(0.77 - 4.44)
独身(同居者あり)	72	23.6	1.43	(0.76 - 2.69)	1.36	(0.72 - 2.58)	0.96	(0.47 - 1.94)
年間世帯収入								
600万以上	76	18.2	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)
200万～ 600万	331	24.8	1.45	(0.90 - 2.34)	1.40	(0.86 - 2.27)	1.10	(0.66 - 1.85)
200万未満	159	35.5	2.08	(1.09 - 3.96)	1.95	(1.02 - 3.74)	1.03	(0.49 - 2.17)
65歳以上								
就業状況								
有職	163	25.8	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)
無職	280	56.8	3.74	(2.44 - 5.75)	3.72	(2.42 - 5.72)	3.66	(2.36 - 5.66)
学歴								
中学校卒業	163	44.8	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)
高校卒業	179	46.4	1.11	(0.72 - 1.71)	1.12	(0.73 - 1.72)	1.06	(0.67 - 1.70)
短大卒業以上	101	44.6	1.03	(0.62 - 1.69)	1.03	(0.62 - 1.71)	0.98	(0.56 - 1.70)
婚姻状況								
既婚	384	44.3	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)
独身(単身)	39	51.3	1.38	(0.71 - 2.69)	1.38	(0.71 - 2.68)	1.13	(0.51 - 2.50)
独身(同居者あり)	20	55.0	1.56	(0.63 - 3.86)	1.58	(0.64 - 3.91)	1.31	(0.51 - 3.40)
年間世帯収入								
600万以上	97	42.9	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)
200万～ 600万	290	43.8	0.96	(0.53 - 1.74)	0.96	(0.53 - 1.75)	0.83	(0.44 - 1.57)
200万未満	56	51.5	1.24	(0.61 - 2.52)	1.22	(0.60 - 2.49)	1.02	(0.47 - 2.23)

OR: odds ratio, CI: confidence intervals.

a: 4時間以上テレビ視聴している者の割合

model 1: 年齢のみ調整 (年間世帯収入のみ√世帯人員を調整)

model 2: model 1に加え、飲酒状況、喫煙状況を調整 (年間世帯収入のみ√世帯人員を調整)

model 3: model 2で用いた変数を同時に強制投入し調整

表2. 女性における長時間テレビ視聴と社会的要因の関連

	n	% ^a	model 1		model 2		model 3	
			OR	95%CI	OR	95%CI	OR	95%CI
20歳以上65歳未満								
就業状況								
有職	471	8.7	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)
無職	337	30.0	4.25	(2.85 - 6.34)	4.22	(2.83 - 6.30)	4.71	(3.08 - 7.19)
学歴								
中学校卒業	81	28.4	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)
高校卒業	363	21.2	0.73	(0.42 - 1.27)	0.75	(0.43 - 1.30)	0.87	(0.48 - 1.58)
短大卒業以上	364	11.5	0.39	(0.22 - 0.72)	0.41	(0.22 - 0.76)	0.46	(0.24 - 0.91)
婚姻状況								
既婚	641	17.3	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)
独身(単身)	39	23.1	1.37	(0.63 - 3.00)	1.40	(0.64 - 3.07)	1.80	(0.64 - 5.01)
独身(同居者あり)	128	17.2	1.24	(0.73 - 2.08)	1.23	(0.73 - 2.08)	1.96	(1.08 - 3.53)
年間世帯収入								
600万以上	102	16.8	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)
200万～ 600万	468	16.7	0.92	(0.60 - 1.40)	0.91	(0.59 - 1.39)	0.72	(0.46 - 1.14)
200万未満	238	23.5	1.30	(0.72 - 2.35)	1.27	(0.70 - 2.30)	0.92	(0.46 - 1.82)
65歳以上								
就業状況								
有職	91	19.8	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)
無職	384	40.1	2.68	(1.53 - 4.70)	2.72	(1.54 - 4.80)	2.90	(1.62 - 5.20)
学歴								
中学校卒業	197	41.6	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)
高校卒業	222	36.0	0.80	(0.54 - 1.19)	0.79	(0.53 - 1.17)	0.82	(0.54 - 1.25)
短大卒業以上	56	17.9	0.31	(0.15 - 0.66)	0.29	(0.14 - 0.63)	0.32	(0.15 - 0.70)
婚姻状況								
既婚	314	32.8	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)
独身(単身)	94	42.6	1.48	(0.91 - 2.41)	1.44	(0.88 - 2.35)	1.27	(0.66 - 2.43)
独身(同居者あり)	67	43.3	1.53	(0.88 - 2.65)	1.52	(0.87 - 2.65)	1.58	(0.88 - 2.82)
年間世帯収入								
600万以上	151	24.0	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)	1.00	(ref.)
200万～ 600万	274	34.7	1.65	(0.81 - 3.35)	1.66	(0.81 - 3.39)	1.51	(0.72 - 3.16)
200万未満	50	43.0	2.28	(1.05 - 4.95)	2.33	(1.07 - 5.07)	1.84	(0.81 - 4.19)

OR: odds ratio, CI: confidence intervals.

a: 4時間以上テレビ視聴している者の割合

model 1: 年齢のみ調整 (年間世帯収入のみ√世帯人員を調整)

model 2: model 1に加え、飲酒状況、喫煙状況を調整 (年間世帯収入のみ√世帯人員を調整)

model 3: model 2で用いた変数を同時に強制投入し調整